

月刊推進技術



<http://www.lsweb.co.jp/micro-tunnelling/>

月刊推進技術 検索

公益社団法人

日本推進技術協会

<http://www.suisinkyō.or.jp>

e-mail: info@suisinkyō.or.jp

特集

これまで進化した推進技術

下水道展特集号

よここぞ下水道展'13東京

7
Vol.27 No.7
2013(平成25年)

φ4000型泥土圧掘

製作者 奥村機械製作



13 泥濃式と泥水式で対応 ダイレクト接続の実力派

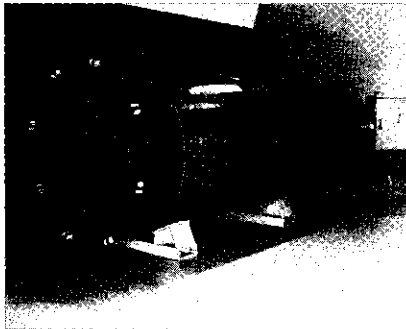
大 小間番号 2-32

ツーウェイ推進工法協会

<http://www.two-way.jp>

推進システムは泥濃式工法に加えて泥水式工法からも選択出来るようになり、幅広い施工条件に適応します。また、到達条件に応じて特殊止水装置や接続サポート機能の選択が可能。

到達作業の安全性を向上させました。



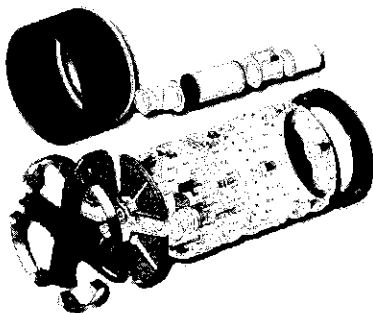
16 柔軟な発想と技術で、 みずみずしい街づくりのお手伝い

大 小間番号 3-40

超泥水加圧推進協会

<http://www.choudeisui.gr.jp/>

外筒残置式は外筒の残置と機器の回収を特長とする超泥水加圧推進の掘進機です。本掘進機は分解回収可能なカッター・隔壁・駆動装置・その他の内部機器を装着し、従来の掘進機では回収が難しいとされていた既設人孔や狭小立坑で、外筒(主管)を残置し、機器を分解回収して外筒内に推進管を敷設します。



14 現場に適した技術で誕生した 新下水道仮排水工法マルチ-V

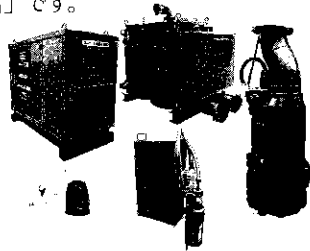
大 小間番号 2-31

マルチ-V工法協会/三興建設(株)

<http://www.sanko-g.co.jp>

下水道仮排水工法は、まさに心臓外科手術における心肺維持装置と言える程、下水道管路の敷設替え工事においては仮排水工事を如何に適切に施工するかが本工事と同レベルの重みを持っています。

これまで仮排水工事は、不衛生な作業環境、品質の確保など着工から引き渡しでのストーリーが描けない問題がありました。そこで現場の視点から仮排水を追求して考えた工法がマルチ-V工法「パスカル君」です。



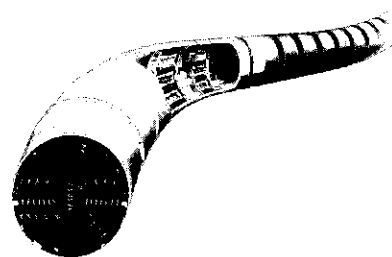
17 長距離・急曲線推進を 高精度で経済的に!

大 小間番号 3-42

コスミック工法協会

<http://www.cosmic.gr.jp>

コスミック工法は、大中小口径推進工法で泥水式、泥濃式、土圧式に対応しております。また、現場の条件に応じて、曲線造形装置(CBM)やチェーン回転式摩擦低減装置、中間摩擦低減装置等の要素技術を組み合わせることにより、長距離・急曲線推進を経済的かつ確実に推進する工法です。また、管長の短い特殊中押装置により急曲線通過後の長距離推進にも対応可能です。



15 ESS工法は3タイプから最適な 施工方法が選択できる。

大 小間番号 3-43

エコスピードシールド工法協会

<http://www.eco-speed-shield.com/>

当工法では、『推進・シールド併用タイプ』『シールドタイプ』『推進タイプ』の3種類から現場に応じて、最適な施工方法を提案しています。

今回は、推進工法のみでは施工が困難とされた工事において、推進・シールド工法が採用された工事を紹介します。そこで、関東地方で初採用・初施工となる工事の紹介と、関西地方で施工中および施工準備中の工事を紹介します。



18 小口径管・改築推進工法の フロントランナー

大 小間番号 2-25

アイアンモール協会

<http://www.ironmole.gr.jp/>

850台以上の販売台数があり、台湾等の海外での販売実績や海外で活躍する協会員も増えてきており、インフラ整備を急ぐアジア地域での活躍の場を広げ、さらに今後は、改築推進の分野においても、アイアンモール機のクラス最大のスペックを利用したアイエムリバース工法を開発し、老朽管の布設替だけでなく、能登震災の液状化による被災管復旧の工事など、常にフロントランナーとして努力していきます。

